明科いいまちつくろうかい!! 編集 発行

明科いいまち通信

いいまら翅信は、 WEBでもご覧 いただけます。▶



至長野

http://akashina.net/localinfo/newslisi

No. 63

安曇野市明科中川手6824番地1

明科支所: 2562-3001(代表) / 明科公民館: 2562-4605

令和3年1月21日 発行

第05回

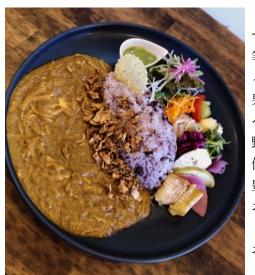
咖喱 ヤドリギ

咖喱 ヤドリギ店主 堀内 ゆかり

店舗位置図

2019年9月より、明科塩川原に「安曇野の端っこで食べる本格家(おウチ)カレー」をコンセプトに OPEN しました、咖喱ヤドリギです。ひっそりと OPEN し、わかりづらい場所にありながら目立った看板も出ておらず、まだまだご存じの方も少ない中、今回明科の皆さまに知ってもらえる良い機会をいただき大変嬉しく思います。

お店の場所は、国道 19 号沿いコメリ向かいの道をのぼり、塩川原公民館を過ぎたすぐ先の十字路を左折。住宅地を道なりに進むと犀川対岸の見える開けたところに出てきます。その右手に大きなケヤキの木があり、その木の下にある土蔵造りで赤い扉の建物が咖喱ヤドリギです。ちなみにこのケヤキの木は、「天狗社のケヤキ」と呼ばれ、市指定の天然記念物になっています。とても立派な木なので目印になると思います。



野菜の旨味とホロホロのチキン! じんわり辛いヤドリギカレー(¥800)

当店は、ヤドリギカレー(チキン)、ヤドリギキーマ、ヤドリギグリーンの3種のカレーと、コーヒー等の飲み物・ミニデザートを提供しております。 イチ押しのヤドリギカレーは、たっぷりの野菜と

果物をペーストにし、香辛料でじっくり仕込みます。ルーのとろみはこのペーストだけでついており、具のチキンはホロホロとやわらかく好評ですよ。 野菜たちの旨味の中じんわりくる辛みが、紫米入りご飯とベストマッチ!! 何度も食べたくなる、そんなカレーです。そして、ここ安曇野はおいしい野菜が豊富です。カレーの付け合わせに旬の野菜を使ったピクルスやサラダをたっぷりお出ししております。

昨年5月より始めたテイクアウトも引き続き継続中です。できる限りご要望に お応えしたいと思っておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

よく店名の由来を尋ねられるのですが、これはお店の目印になっているケヤキの木に寄生する「宿り木」から来ています。樹上にマリモみたく丸く可愛らしい形状で生い茂る姿に惹かれ店名にしました。妖精が住むとも言われ、クリスマス

に飾ったり、種類によっては薬効もあるとか。花言葉は「忍耐」「困難に打ち勝つ」だそうです。ここ咖喱ヤドリギでも、コロナ禍という困難に負けないよう、お店の換気や消毒を徹底し、お客様に安心して過ごしていただけるよう努めていきたいと思います。開店して1年4カ月、1人営業のためお待たせしたり不便をおかけしたりもしましたが、ヤドリギを通じて沢山の方と出会え応援していただき、「おいしい」と言っていただけたことは、いま大きな宝物となっています。ここ明科で皆さまがくつろぎ喜んでいただける場所となるよう、日々勉強し励んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



咖喱 ヤドリギ

安曇野市明科七貴 7304 TEL: 0263-55-0056 OPEN: 水・木・金 11:00-14:30 (※変更の場合あり) HP: http://yadorigi-curry.jimdosite.com Instagram: yadorigi_curry Twitter: @shiogawara

明郡コラム学第6回 三九郎に思うこと」

昨年はコロナ禍で始まり、コロナ禍で終わった I 年だった。多くのイベントや伝統行事が中止、延期になり、現在も収束が見込めない状況である。今年はコロナ禍が収束し、希望に満ちた年になることを願うばかりだ。

さて、 I 月は、例年地域の伝統行事の三九郎が実施されている。三九郎という名称は松本平周辺だけで使われるらしい。私は最初この名前を聞いた時、人の名前かと思っていた。実際神主の名前から由来しているらしいが定かではない。広辞苑では「左義・長・」という名称で記載されている。他にも「どんと」「どんど焼き」「おんべ」など全国的にさまざまな名前がある。やり方は、全国的にほぼ同じで、正月の松飾り、だるま、書初めなどを竹と松で組んだものに飾り、燃やした火で餅やまゆ玉を焼いて食べ、無病息災を願う行事だ。

三九郎は各地区でそれぞれ実施され、地区の子どもたち、若者から高齢者まで勢いよく燃え盛る三九郎の火を囲み、 歓談をしながらたまのふれあいを楽しむ。古くから継承されるこうした行事は地域づくりの原点であり、地域のつながりを強くするものだと、私は思っている。



宮本地区の三九郎

最近ではこのような伝統・文化の継承が困難になってきているとよく言われる。いくつかの地区では三九郎の組み方を今の子どもの親が知らなくて、祖父・祖母の世代が作らなくてはできないという事態になっているようだ。昔は注連縄づくり、三九郎の組み方は日常の出来事だったが、近年のライフスタイルの変化により、日常とかけ離れたものになっていることがそうした要因だろうか。さらに、継承

する世代が年々減少していくのも、継承が困難になっている一因だろう。地区のまつりにおいても、お舟や山車を曳く者、笛・太鼓を奏する者、まつりを運営する者は大半が60代以上で構成されているようだ。この先5年、10年して地域の伝統行事は成り立つのだろうか、不安を覚える。

伝統行事を継承するには、何事も記録にとどめておくことが肝要と思われる。毎年行っていることを毎年書き記して記録をする。今では電子媒体があるので写真、動画なども有効だ。技術・手法だけでなく、その文化の精神、背景というものも継承しなければならない。各地区ごとに対応策を講じて伝統・文化をいつまでも継承していただきたいと思う。

継承者の減少については、過疎地域では適当な解決策が 見当たらない現状だと思われる。

潮沢柏尾の風神祭りは、継承者の不足によりいったん中 止になったことがある。その後祭りを再開したいという有 志が集まり、地区外からの協力者も得て再開されている。 少数でも継承する意志を持って伝統を守っていくことが大 切ではないだろうか。

今年の三九郎はコロナ禍により、実施した地区、しない地区、簡素化した地区に分かれた。私の住んでいる宮本地区は、実施はしたものの例年行われているカレーづくり、会食は中止となり、餅やまゆ玉を焼く行為も自粛となった。実施にしても中止にしても地区の役員の苦労はいかばかりかと思う。いつもの日常がいかに平和だったか思い知らされる今日この頃だ。来年は全地区で三九郎が行われることを期待したい。(明科公民館長 安井邦夫)



ウォーキングプロジェクト

戦国時代の山城趾を探訪しました

明科には山城の城趾が数多く残されています。さる12月6日、安曇野市内では最大規模の戦国山城遺構である塔ノ原城趾巡りをおこないました。申し込み殺到で、1時間ほどで定員オーバーとなるほどの盛況ぶりでした。当日は北風が頬に冷たく感ずる中でしたが、全員が無事に巡ることができました。

参加者の中には、御年88歳となるNさんがおられ、主催者側としては心配でしたが、全行程を見事に歩き切ったのでした。参加者一同で彼女の頑張りに拍手を送る一場面もありました。彼女の感想は、「過去に公民館講座で塔ノ原城趾のことを学んであったので、その時の学びを自分の足で確かめることができ



感慨深かった」とのことでした。これから超高齢化社会になっていきます。人生100年時代、歳をとっても、健脚を維持し人との交流を大切にし学び続けることの大事さをNさんは伝えてくれました。皆さんNさんのように前向きに歳を重ねていきたいですね。山城巡りは今後も継続して実施して参りますので、ぜひご参加ください。

明科公民館からのお知らせ 🖫

あかしなこうみんかん

3月

Akashina

lanuary

新型コロナウイルスの影響により、下記のイベント等は中止・変更となる場合があります。最新情報については、明科公民館(公62-4605)までお問い合わせください。

いいまち サロン

明科自然探索講座

蝶ヶ岳からの山小屋だより

「蝶ヶ岳からの眺望を見ずして、槍・穂高を語ることなかれ」と言われる人気の山・蝶ヶ岳。この講座では、蝶ヶ岳の四季の魅力と最近の山小屋事情、登山事情を解説します。どうぞ、おでかけください。

日 時: 1月26日(火) 午前10時~正午

会 場: 明科公民館 講堂

講 師: 中村 梢さん(蝶ヶ岳ヒュッテ代表取締役)

参加費: 無料 **申込み:** 不要



新春コンサート

~筝と尺八の調べ~

新春のひとときを、情趣あふれる箏と尺八の演奏でお楽しみください。

日 時: 1月29日(金) 午後2時~3時30分

会場: 明科公民館 講堂 出演: 小澤 雅美穂さん(筝)

」 **演・** 小洋 雅大(応C/V(す

有賀 雅栄さん(筝)

原 靖堂さん(尺八)

曲 目: 春の海、さらし風手事、にほんのうたメドレーほか

参加費: 無料 **申込み**: 不要

明科の宝 part IV

縄文から方墳時代の明都

安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会が制作した「明科の宝」の第4回目の講座です。今回は、縄文時代から古墳時代にスポットをあて、発掘調査の出土品や、北村遺跡や潮古墳群などの遺構から、当時の暮らしや文化について紹介します。



日 時: 2月4日(木) 午前10時~正午

会場: 明科公民館 講堂

講 師: 土屋 和章(安曇野市役所 文化課職員)

参加費: 無料 **申込み**: 不要

その他: 冊子「明科の宝」をお持ちの方はご持参ください。

こんにゃくづくの講座,

あかしな農業塾で育てたこんにゃく芋を使い、手作りこんにゃくをつくります。皆さまどうぞご参加ください。

日 時: 2月12日(金) 午前9時~正午

会 場: 明科公民館 調理実習室

講 師: 望月 亮子さん

参加費: 900円(講座受講料を含む)

定 員: 先着15人

対 象: 市内在住または在勤の人

申込み: 2月1日(月)·2日(火)に明科公民館へ お電話ください(Te.62-4605)。受付は午前9時~午後5時。

3

新华のご挨拶



明科いいまちつくろうかい!!

皆様、新しい年をお健やかにお迎えになられました事とお慶び申し上げます。

寒さの中で勢いを増したコロナにより松本地域にて感染者が急増し、安曇野市でも何時感染するかも知れないという危 機感が強まってきました。ここまで感染者が増えると収束するのにかなりの時間がかかると言われていますので、各自が 感染予防対策をしっかりとしながらコロナに負けないでこの冬を乗り切りましょう。

いいまちつくろうかいの活動も、昨年は3月~7月まで4カ月近く事業を見合わせていましたが、7月からいいまちサ ロンの再開、9月には地域の大勢の皆さまのご協力をいただいて「明科うまいもん朝市」を開催、12月には予想を超え る数の参加者による山城巡りなど、コロナ禍の中でもなんとか活動を進めてまいりました。ですが、あやめまつりや薪能 の中止、明科高校生との交流行事が止まってしまう等、コロナ禍の中での制約の大きさを改めて感じております。

明科駅周辺のまちづくり委員会へ、この会からも執行委員として参加し、意見交換会にも提言をして参りました。当初 要望していた交流機能を備えた建物の設置は、建物の維持管理が重要課題であり、受け皿となる地域の管理運営体制の見 通しがつかず見送りとなってしまいました。あやめシティの一画で、お茶を飲みながら交流する「あやめカフェ」に参加 して下さった皆さんからは交流の場として喜んでいただいていましたので、残念でたまりません。これから超高齢化社会 を迎え人口減少となっていく社会状況を考えるとやむを得ないとは思いますが、高校生を含め交流のできる場は必要です から、あきらめずに新たな方向を皆さんと共に考えていきたいと思います。

コロナは必ず収束するという希望を抱いて、安心・安全の生活を取り戻す、そのためにコロナ禍の中においても、他の 組織と連携しながら可能な限りの地域課題解決へ繋がる活動を進めて参りたいと思います。今年も皆様のご支援・ご協力 をよろしくお願いいたします。

絵本のベストセラーは『いないいないばあ』



絵本累計発行部数ベスト10

(令和2年11月24日信濃毎日新聞より)

ı	70 万部	いないいないばあ
2	533万部	ぐりとぐら
3	420万部	はらぺこあおむし
4	333万部	しろくまちゃんのほっとけーき
5	322万部	てぶくろ
6	318万部	ねないこだれだ
7	316万部	おおきなかぶ
8	308万部	だるまさんが
9	304万部	ぐりとぐらのおきゃくさま
10	295万部	じゃあじゃあびりびり

新聞報道で、子どもの絵本に関する記事が大きく出ていました(**左表**)。 ここに載っている本は、さすがにベストセラーだけあって、明科図書館 にも全てそろっていて、貸出し回数も多いです。やはり時代は移っても いいものは読まれ続けるんですね。それにしても 700 万部とか 500 万部 売れているということ、考えてみればすごいことですよね。みなさんも この中の何冊かの絵本は知っていることでしょうね。

安曇野市では、4か月の赤ちゃん検診時に絵本をプレゼントする「ブッ クスタート」や、2歳の検診時に絵本をプレゼントする「セカンドブック」 ということを行っています。小さいときから身近に本をおいて親しんで ほしいという願いからです。

冬の寒いこの時期、図書館に来て子どもさんと一緒に暖かい時間を 持ってくれたらうれしいなあ、と思います。図書館には床暖房が入って いますし、ゆっくりくつろげるスペースを用意しています。

編集後記

・相変わらず引きこもり生活が続き、正月は餅ばかり食べていたので 太ってしまいました。体が餅と一体化したようにたぷたぷ、ふっくらして います。いまさらもち肌になってもしょうがないですが、糖尿病と肥満に は気をつけたいと思います。(や)

・去年を振り返って考えてみると、まさか「全世界にウイルスが蔓延す る」というSFじみた事態に見舞われるとは思いもしませんでした。友達 と集まって遊んだ日々が遠い昔のように感じられます。どうにか今年中 にはコロナ禍が収束してくれることを願ってやみません。(ふ)

毎月第3日曜日は



~家族で一緒に過ごしましょう~

家庭の日には、優待制度が利用 できる店舗・施設等があります。 詳しくは「長野県青少年育成県民 会議」ホームページまで。

http://himawari-nagano.jp/